

令和6年度
さくら保育園
事業報告書

令和6年度 さくら保育園 事業報告書

(1) 基本方針

安心・安全を念頭に、保護者の成長を願う気持ちに寄り添いながら、子どもの心身共に健全な成長を助け、保育を行ってまいります。

(運営方針)

- ① 子どもの気持ちを大切にし、保護者が安心して子どもを預けることができる保育者を目指します。
- ② 子どもの「気づき」「やる気」を大切に見守り、必要な時は個々に応じた手助けをします。
- ③ 一人ひとりの個性、発達段階を的確にとらえ関わります。
- ④ 保育者は、子ども、その保護者、介護施設入所者様との交流を通じて、子どもの成長を共に願えるようにします。

(重点目標)

- ① 日々の保育の中で、子どもたちの様子や気づいたことについて、PDCAサイクルを繰り返し行い、職員同士で話し合いながら共有することで、子ども一人ひとりの成長に合った保育を実施できるように努めました。また、子どもたちの生理的欲求や依存的欲求が満たされるように、その時々にながが必要かを考え、真剣に向き合うことにより、子どもたちとの信頼関係を深めることができるように努めました。
- ② 家庭での様子や保育園での様子を保護者と伝え合い、子どもの成長を共に喜んだり、保護者の悩みや思いをしっかり受け止めたりするよう努めました。また、感染症ガイドラインに沿い、室内や玩具の清掃・消毒、換気等、感染症対策を行いました。SIDS（乳幼児突然死症候群）チェックシートや、園内設備に関するチェックシート、ヒヤリハット等を活用しながら、職員同士確認し合い安全確保に努めました。気候の良い日には、戸外遊びや散歩を取り入れ、心身の発達を促せるよう努めました。雨の日等戸外活動ができない日には、室内でリトミックやCDに合わせダンスや体操を行ったり、手作り玩具等で指先を繰り返し使ったりして、手や指先の発達を促すことができるようにしました。

- ③ 毎月の身体測定では、大きくなったことを子どもと一緒に喜び、自分自身の成長に関心を持てるよう努めました。避難訓練では、安全に避難するために、年度初めに職員の役割分担を行い、その時々で子ども一人ひとりに合った声かけ等の対応ができるよう努めました。また、季節に応じた行事を実施し、伝統的な行事を経験したり、保育者や友だちと楽しい時間を過ごしたりすることで、子どもたちの成長を豊かなものにするようにしました。

(2) 園児に対するサービス

●食事

管理栄養士の立てるカロリーや栄養バランスに配慮した献立、新鮮な食材を使つての手作り給食、手作りおやつが提供されました。離乳食の必要な子どもには発達に応じた時期の離乳食の提供、食物アレルギーのある子どもに関してはそれに応じた除去食も提供できるようにしました。季節の旬の食材や行事に関した献立も取り入れ、子どもたちが安全に楽しく食べることができるように工夫を行いました。食の大切さを伝えたり、保護者が抱える食への悩みや、不安の軽減につながったりできるよう、年間の食育計画を作成し、それに沿って食育だよりを配布いたしました。

●健康管理

日々の登園時の視診、検温(1歳未満児は登園時、午睡前、午睡後の3回・1歳以上児は登園時・午睡後の2回)を行いました。そして、保育中の体調・機嫌・顔色の変化や、排便の様子、皮膚疾患の有無等観察し、保護者に対して送迎時や連絡帳を通して報告しました。また、子どもたちに年間2回の健康診断・歯科検診を実施し、健康の維持、管理に努めました。感染症や疾患、乳幼児に起こりやすい体調変化に関するテーマの勉強会を実施し、職員の観察力・知識の向上に努めました。

●行事

子どもたちに季節を感じてもらえるように、季節の行事や、伝統的な行事を取り入れました。七夕、ハロウィン、クリスマス会、節分、誕生日会、お別れ会等、子どもと一緒にその行事に関した製作をしたり、大型絵本や保育者が作成したペープサート、スケッチブックシアター等を見たりして楽しみました。ハロウィンでは、子どもたちと作った変身グッズを身に付け、亀天荘の事務所やナースステーション、デイサービスに訪問して

お菓子をいただいたり、職員と写真撮影を行ったりして楽しい時間を過ごしました。今年度は、6月と12月に参観日を実施しました。保護者の方に、保育園で行っているダンスや体操を見てもらったり、一緒に製作やふれ合い遊びを行ったりしました。今後、亀天荘の入所者様やデイサービスの利用者との交流も計画したいです。

- 防火・防災対策

防災訓練計画・保育安全計画に沿って、年度初めにマニュアルの見直しや職員の役割分担を行い、地震や風水害、火災や不審者対応の避難訓練等を実施し、子どもの誘導や対処方法を確認しました。消火器の使い方の確認、初期消火のやり方などの消火訓練は毎月行い、緊急時に慌てず対応できるようにしました。

- 子育て支援

核家族化が進み、仕事をしながら子育てに悩みや不安を抱えながら生活をしている保護者が多くいると思われまます。その心の拠り所となり、子育ての良き理解者となるよう努めました。保護者の悩みや思いをしっかり受け止められるよう、常に丁寧な関わりを心がけ、信頼関係を深めるようにしました。

- 衛生管理

毎日、室内外の清掃、玩具類の消毒を行い衛生的な環境のもと、子どもたちが生活できるようにしています。食事の時使用する食器は、洗浄後、滅菌機を使用し衛生的に管理しています。また、粉ミルクを必要とする乳児の哺乳瓶は専用の洗剤、消毒液で洗浄し、保管場所も蓋つきの容器に保管し毎日洗浄しています。定期的に、エアコンや加湿器等の掃除を行いました。

- 事故防止

事故を未然に防ぐ為、子どもの特性を理解し、職員一人ひとりが事故防止を心がけました。ヒヤリハット、アクシデント報告等を活用し、事故に発展する可能性のある問題点、問題箇所は無いか全職員が把握し、対策を実行しました。

●職員研修

保育士としての知識や技術の向上を目指し、年間研修計画に沿って、内部研修を行いました。研修テーマを職員間で話し合い、知りたいことや深めたいことを考え決めました。担当になった職員は勉強を行い、資料を作成し、講師として会を進めました。外部研修は、保育安全研修・施設長研修・キャリアアップ研修等に参加することができました。研修後は、研修報告等を通じて他の職員にも内容を共有し、保育の質の向上を図りました。来年度も引き続き、機会を見つけ各保育士が研修に参加できるようにしたいと思います。

(3) その他の重要な取り組み

① 新型コロナウイルス感染症予防及びまん延防止対策

保育所における感染症ガイドラインに沿って、感染症対策を行いました。職員は、毎日の検温、消毒、換気、マスクの着用を徹底しました。子どもたちが手を触れるところや玩具等もこまめに消毒を行い、衛生的な環境を保てるように努めました。子ども同士の距離をなるべく取れるようにし、午睡時は頭の向きを互い違いにしました。

② ハラスメント対策

ハラスメントに関するより具体的な事例を用いた園内研修を行い、職員全体がハラスメントを理解し、働きやすい環境作りに努めました。今後、研修を行うなどして職員の意識を高めるようにします。

③ 地域における公益的な活動

今年度は、秋祭り等の地域イベントへの参加は出来ませんでしたが、園の周辺を散歩したり、公園へ遊びに行ったりすることで、地域住民の方と挨拶を通してコミュニケーションを図り、当園の活動を知っていただけるよう努めました。

④ 介護職員等処遇改善加算への取り組み

処遇改善加算Ⅰ、Ⅱとはどういったものことか、職員全体で周知・共有しました。キャリアアップ研修を受けることで、キャリアの積み上げ、職員の定着を図りました。また、研修で学んだことを園内研修に取り入れ、スキルアップにつながるよう努めました。

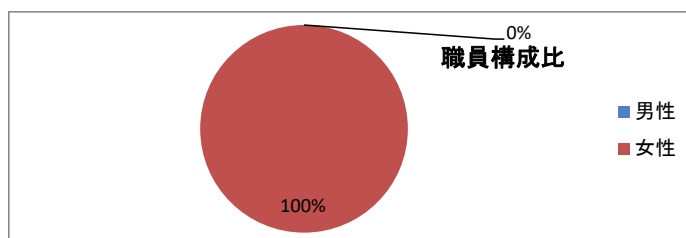


1. 事業所

① 概要

事業所名	さくら保育園		
事業所種別	企業主導型保育園		
事業所住所	西条市大野190番地1		
管理者職名	園長 山田 古津枝		
職員数	男性	女性	総数
	0	9	9

(令和7年3月31日現在)

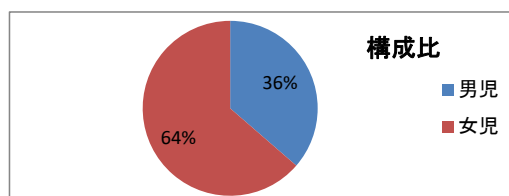


②職員紹介

さくら保育園は園長1名、保育士5名、保育職員1名、事務職員1名、調理員1名の9名で構成しております。企業主導型保育園で、亀天会職員のお子様と、地域枠で地域で過ごされているお子様の保育を行っています。異年齢のお子様をお預かりしており、温かい関りの中で、一人ひとりの発達段階に沿った保育を行うように心がけています。

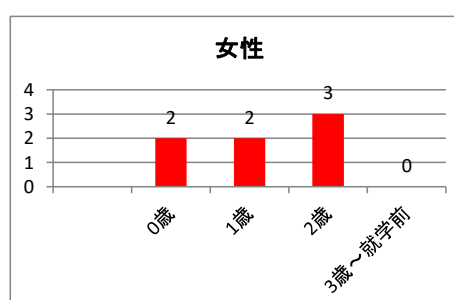
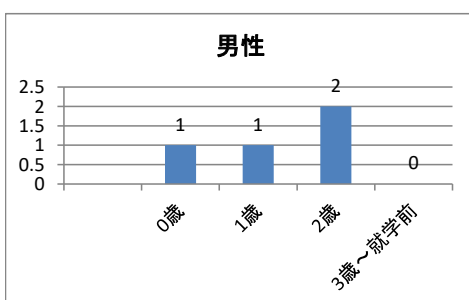
2. 定員及び現在人員(令和7年3月31日現在)

定員	現在人員	性別	
		男児	女児
11	11	4	7



3. 年齢別人員

	男性	女性	合計人数と構成比	
			人数(名)	構成比(%)
0歳	1	2	3	27
1歳	1	2	3	27
2歳	2	3	5	45
3歳～就学前	0	0	0	0
合計	2	8	11	100



4. 研修実施状況

【内部研修】

実施月	研修内容	研修講師	出席者数
4月	保育・子どもに関わる法令施策について、法令の遵守について、危機管理対策について	施設長	7
5月	事故防止・事故発生時の対応について、不適切保育	保育士	7
6月	感染症対策について、小児の便秘について	保育士	7
7月	支援が必要な子どもについて、絵本選びについて、保育指導案・連絡帳について	保育士	7
8月	業務継続計画(BCP)について、音楽活動について、	保育士	7
9月	保護者支援・子ども支援、食育・アレルギー児への対応、保育所保育指針①	保育士	8
10月	子どもの主体性を育むために、保育所保育指針②	保育士	8
11月	事例の検討	保育士	7
12月	製作活動について	保育士	7
1月	子どもを中心に保育の実践を考える、保育所保育指針③	保育士	7
2月	今年度の自己評価と次年度の目標、子どもの救急対応について	保育士、東予西消防署職員	8
3月	職員間で次年度の計画等を共通理解する。又、保育の進め方、役割分担について話し合う、保育所保育指針④	保育士	8

5. 苦情状況

【苦情状況】

日付	法人との関係	内容
		無し





